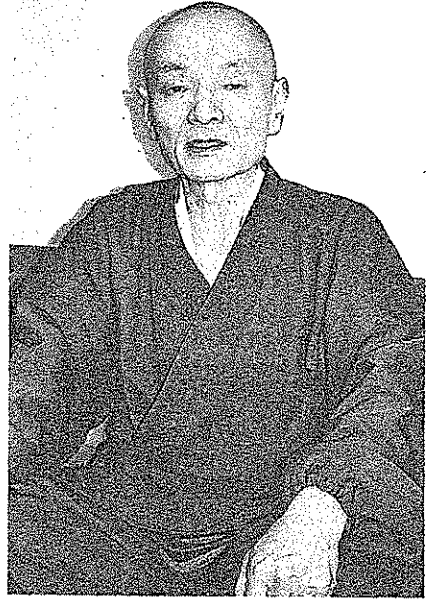


規制委判断を批判 再稼働反対 中島さん

関西電力高浜原発3、4号機の再稼働に反対してきた小浜市門前、明通寺住職中島哲演さん(セシ)は「原発反対県民会議代表委員」は「電力事業者側の言い分に耳を傾けた判断だ」と厳しく批判した。

問題点として指摘するのは、原子力規制委員会の田中俊一委員長が昨年暮れの記者会見で、安全でないとも安全だとも言え



「電力事業者側に歩み寄った決定だ」と批判する中島哲演さん(小浜市の明通寺で)

ない、との見解を示した点。「あまりに無責任な放言。周辺住民をばかにしている」と憤る。を出した。巨大な利益を生み出す電力事業者側に歩み寄った」と解説する。

福島第一原発事故では、放射性物質が外部に漏れ出し、原発の「止める、冷やす、閉じ込める」の安全神話が完全に崩壊した。科学的な検証は容易に進まない。再稼働に懐疑的な国民世論と、原子力政策を堅持する国とのねじれも生じている。

今回の決定について「誰ひとり安全だと断言できない中、規制委は見切り発車のゴーサインと気持ちは込める。今後の焦点は高浜町や県の地元同意。再稼働の工程を見据えながら「裁判闘争や署名活動を通じて世論を盛り上げていく」と決意を語る。(池上浩幸)